

激動の内外情勢と日本共産党を 市田副委員長が語る！



市田忠義プロフィール

1942年大阪生まれ、働きながら立命館大学を卒業／大学図書館司書をへて、党伏見地区委員長、京都府委員長を歴任／1998年参議院議員当選（4期）／2000年党中央書記局長、2014年党中央副委員長



市田忠義副委員長は、全国各地を回り、激動の内外情勢と日本共産党について、ソフトでわかりやすい語り口で訴えています。

公文書改ざん・隠ぺい、セクハラ、北朝鮮問題、9条改憲、アベノクス、一つひとつの問題を丁寧に語り、「政権を土台から揺るがす大激動が起こっている。安倍政権は内政でも外交でもぼろぼろになり、その中で日本共産党の値打ちが際立つ、歴史上かつてない状況が生まれている」と語ります。

市民と野党の共闘の発展にもふれ、「私たちは、その一日一日が新しい歴史をつくる、かつて経験したことがない未踏の領域に足を踏み入れつつあります」「歴史の岐路の今、一緒に力を合わせて世直しをしようではありませんか」と、力を込めて呼びかけています。

日本共産党演説会

7月16日（月）午後2時開会

会場 白山市クレイン大ホール

◎ バスが出ます。各地区委員会にお問い合わせ下さい。

井上さとし参議院議員、憲法といのち輝く政治へ全力



井上さとし

井上さとし参議院議員は、被爆2世として「核兵器をなくす」「誰もが亡くなる瞬間まで人間らしく生きられる社会の実現」が原点。核兵器廃絶を求め国連を3回訪問し、核兵器禁止条約採択に立ち会いました。

参院国対委員長14年。原発ゼロ、戦争法廃止などで、市民と野党の共闘を推進。論戦力を発揮し国会で、現場で、大奮闘しています。



イラク日報隠ぺい問題を追及

外交防衛委員会で質問に立った井上さとし参議院議員。「宿营地への攻撃が頻発した04年の日報が、なぜほとんどないのか」と追及。防衛省は「なぜ04年日報がないか個別に答えるのは困難」と信じがたい答弁。

2018年5月24日外交防衛委員会

プログラム（予定）

- メッセージの紹介
- いっせい地方選挙候補者の紹介
- 参議院選挙区候補のあいさつ
- 井上さとし参議院議員
- 市田忠義副委員長



新石川

2018年6月号外（1973年7月3日 第3種郵便物認可）

● 日本共産党石川県委員会の見解を紹介します

日本共産党石川県委員会 076-243-2877